あきる野市営住宅条例の雨間ハイツに関する条文の改正について

2020年9月定例会議一般質問資料 辻よし子

	現行	提案
<p>(同居の扱い) 第13条</p>	<p>第13条 雨間ハイツにおいては、入居者以外の同居を認めない。ただし、入居者が疾病等により一時的な介護を必要とする場合は、この限りでない。 2 雨間ハイツ以外の市営住宅の入居者は、当該市営住宅への入居の際に同居した親族等以外の者を同居させようとするときは、公営住宅法施行規則第11条で定めるところにより、市長の承認を得なければならない。 (後略)</p>	<p>第1項は全文削除。第2項の「雨間ハイツ以外の」を削除し、第2項の条文に従う。 (第7条で同居を認めている規定との矛盾も解消できる。)</p>
<p>(入居の承継) 第14条</p>	<p>第14条 市営住宅の入居者が死亡し、又は退去した場合において、その死亡時又は退去時に当該入居者と同居していた者が引き続き当該市営住宅に居住を希望するときは、当該入居者と同居していた者は、公営住宅法施行規則第12条で定めるところにより、市長の承認を得なければならない。 2 前項の規定にかかわらず、雨間ハイツにおいては、入居の権利の承継を認めないものとする。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。 (後略)</p>	<p>第2項を削除。第1項の条文に従う。</p>

	現行	提案
(長期不在の承認) 第30条	第30条 雨間ハイツの入居者が、病気療養等の理由により、1月以上1年未満市営住宅を長期不在にするときは、速やかに市長に理由書を提出し、承認を得なければならない。	全文削除。機械警備により不在の通知はすでに不要になっている。
(住宅の明渡し請求) 第44条	第44条 市長は、入居者が次の各号のいずれかに該当する場合において、当該入居者に対し、当該 市営住宅の明渡しを請求 することができる。 (1) 不正行為により入居したとき。 (2) 正当な理由がなく家賃を3月以上滞納したとき。 (中略) (9) 雨間ハイツの入居者に結婚、死亡等による変動が生じたとき。 (後略)	第13条、14条の改正に従い、第1項の9号を削除。